

6 下関市教員育成指標・中核市研修対応表【幼稚園教諭等】H30年度

下関市では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなただけの熱い情熱を！～

- ◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身に付けた人 ◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人 ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人 ◎豊かな社会性をもち、幅広いコミュニケーションができる人 ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。

本指標は、「山口県教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責、経験等に応じて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

キャリアステージ	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】	主任等	園長	
求められる資質能力	○教育・保育に対する強い使命感や情熱をもち、園に活力を与えとともに、教育・保育を行う際に必要な基礎的な知識や技能を基盤とした実践力を発揮している。	○専門分野の力を伸ばすとともに、身に付けた高い専門性を生かし、ミドルリーダーとして園運営の一翼を担っている。	○高い能力や専門性を発揮し、園における様々な業務等を通して、園の運営に積極的に参画したり、若手や中堅の教員の人材育成に取り組んだりしながら、企画力・調整力を発揮している。	○教職員の人材育成を行うとともに、園長を補佐して園の教育・保育目標に向けた取組を推進している。	○園の経営方針を示して組織的な運営を行うとともに、地域や関係機関等と連携した取組を進めている。	
保育者としての姿勢に関すること	保育者として自分の課題を発見し、自己研鑽していく力 (自己研鑽)	○自己課題をもって研修に参加するとともに、園内研修において後輩と園長等の考えをつないでいる。	○自己課題をもって研修に参加するとともに、園内研修において中心的役割を果たし、研修の活性化を図っている。	○常に向上心をもって取り組み、園全体の動きを把握しながら教職員研修のマネジメントを行っている。	○一人ひとりの教職員の自己研鑽の場を確保し、園全体の学び合う雰囲気をつくっている。	
	中核市研修番号	14, 36, 37	14, 36, 37	14, 36, 37	12, 37	7, 8
	乳幼児期の発達や学びを踏まえた教材の研究をする力 (教材研究)	○子供のモノや人との関わりを深めるための遊具や用具を工夫して活動を豊かにしている。	○個々の育ちに応じた保育が展開されるための教材の準備をするとともに、後輩の相談にも応じている。	○後輩と必要な教材について具体策を一緒に考え、助言・指導している。	○教材研究ややりたいことが実現できる教材の提案をするなど各職員が教材研究を楽しむ雰囲気をつくっている。	○園全体の教材に目を配り、必要に応じて指導・助言し、豊かな園環境をつくっている。
	中核市研修番号	14	14	14	12	
教育・保育に関すること	子供の主体的な学びを保障するための環境を構成する力 (環境の構成)	○子供の動きや活動の展開を予測しながら、環境の構成、再構成をしている。	○子供が主体的に活動することができるよう、様々な環境を生かしながら、実践を展開することを楽しんで行っている。	○他クラスや他学年の教育・保育の展開を意識して、園全体の環境を視野に入れて豊かなモノや人との関わりを生み出す実践を行っている。	○各教職員の意見を反映しつつ、協働して乳幼児期の発達を保障する環境の構成に努めている。	○地域や園の実態を踏まえ、よりよい教育・保育の実現に向けて、環境の維持改善に努めている。
	中核市研修番号	14	14	14	12	7, 8
	一人ひとりの子供の特性や発達、ねらい等に適切な援助を行う力 (援助)	○子供たち一人ひとりの特性や発達を理解し、その援助を工夫している。	○個と集団の育ちを意識しながら、一人ひとりの特性や発達を捉え、必要な援助を行っている。	○各教職員のモデルとなり、子供たち一人ひとりに応じた適切な援助を行っている。	○各教職員が一人ひとりに応じた援助を適切に行えるよう指導している。	○各教職員が一人ひとりに応じた援助を適切に行えるよう、資質向上のための学び合いの場をつくっている。
	中核市研修番号	14, 36, 37	14, 36, 37	14, 36, 37	12	7, 8
	ねらいに沿って指導を適切に展開し、改善する力 (指導計画の作成と保育展開・評価)	○反省・記録をもとに、指導計画を構想し、発達の見直しをもった保育を展開している。	○日々の実践を通して、年間指導計画のねらいや内容、環境の構成、援助を見直している。	○園の行事などで実践の中心的な役割を果たしながら、年間指導計画を見直している。	○教職員との話し合いに積極的に参加しながら、年間指導計画の評価・改善に努める。	○各教職員が教育・保育課程を踏まえてよりよい実践ができる園環境をつくっている。
	中核市研修番号	14, 36, 37	14, 36, 37	14, 36, 37	12	7, 8
	地域の資源を活用し、指導の充実を図る力 (地域連携)	○地域の自然や文化を保育に生かしている。	○地域の資源を生かし、自らの保育を豊かにしている。	○様々な機会を通して子供や保護者と地域とのつながりを深めている。	○園長を補佐しながら、地域の人的・物的資源を活用した園づくりを進めている。	○地域との信頼関係を築き、地域の資源を活用した園づくりを進めている。
	中核市研修番号				12	7, 8
	保護者や必要な機関と連携を図りながら一人ひとりの育ちを支える力 (関係機関との連携)	○子供や保護者への対応について、他の職員と話し合いながら、園内で情報を共有している。	○記録や評価を的確に行い、実態に応じた対応・学級経営・協力体制づくりを行うため、専門的知識をもって関係機関と連携している。	○園内の話し合いの中心的な役割を果たし、協力体制の推進役になっている。	○様々な関係機関の特性や業務内容について情報を得、職員と専門機関又は他の専門領域をもつ専門家との間に入って連携している。	○必要に応じて関係機関と連携できる体制を整え、園全体の連携する力を高めている。
	中核市研修番号	36, 37	36, 37	36, 37	12	7, 8
発達や学びの連続性を見直し、指導する力 (保幼小の連携)	○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識して実践している。	○小学校等との円滑な接続の必要性を理解し、学びや発達を見通した実践を行っている。	○小学校等との円滑な接続の必要性を理解し、学びや発達を見通した計画の作成に携わっている。	○小学校等との連携について教職員とともに計画し、園長に提言している。	○小学校等との連携が円滑に行えるよう、園内外に積極的に働きかけている。	
中核市研修番号	36, 37, 42	36, 37, 42	36, 37, 42	12, 42	7, 8, 42	

キャリアステージ	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】	主任等	園長	
保護者との連携に関すること	在園児の保護者に対して子育てを支援する力 (保護者への支援)	○保護者との良好な関係を築き、必要に応じて相談しやすい雰囲気をつくっている。	○保護者の相談を受容的に受け止め、適切な助言を行っている。	○保護者同士の関係をつくり、保護者が育ち合う場を提供している。	○園内で役割分担をしながら、組織として保護者を支援するための役割を担っている。	○必要に応じて関係機関と連携しながら、組織として保護者を支援できる体制を整えている。
	中核市研修番号	36, 37	36, 37	36, 37	12	7, 8
	地域の子育て家庭等を支援する力 (地域における子育て支援)	○園を訪れる地域の保護者等に対して、気持ちのよい挨拶や温かい雰囲気等で接している。	○園を訪れる地域の保護者等に対して、親しみをもって応じ、気持ちよく利用できるような雰囲気づくりを行っている。	○園を訪れる地域の保護者等に対して、相手の立場に立って、気持ちよく利用できるような環境整備等の提言を行っている。	○園の子育て支援の計画に基づいて実践し、園長を補佐しながら子育て情報を発信している。	○地域の実態を把握して園の子育て支援の充実に努めている。
	中核市研修番号				12	7, 8
園の運営に関すること	学級経営に関わる事務を的確に処理する力 (学級経営)	○日々の記録を整理したり、提出書類を的確に処理したり、担任としての責任を果たしている。	○担任として学級経営に関する責任を果たすとともに、他の教職員の相談にのり、助言をしている。	○担任として学級経営に関する責任を果たすとともに、他の教職員に積極的に助言をしている。	○園全体を見通して各担任の事務処理等を確認し、効率化に向かって指導・助言を行っている。	○各担任が自信をもって学級経営にあたるよう、体制を整えている。
	中核市研修番号				12	7, 8
	園務分掌とその内容を理解し、企画・立案する力 (園務分掌)	○園務の一部を担い、園の組織についての理解を深め、役割にあった行動をとっている。	○園務についての理解を深め、先輩の指導をしながら組織の一員として園務の遂行に努めている。	○園務について理解を深め、よりよい園運営に向けて遂行しながら改善を提案している。	○教職員の関心や立場、負担等を踏まえて、園長を補佐しながら、よりよい園務の遂行に努めている。	○園の課題を踏まえて、園務分掌の改善を図っている。
	中核市研修番号				12	7, 8
上司や同僚と協働して、円滑に園務を遂行できる力 (職員間の連携)	○自分の考えを伝えるとともに、相手の立場を理解しながら仕事を進めている。	○同僚からの相談に応じて、適切な助言を行っている。	○それぞれの立場を理解し、よりよい実践になるよう職員間の連携を図っている。	○園長を補佐するとともに、教職員と信頼関係を築き、教職員に対して必要に応じて支援している。	○教職員一人一人の良さを生かし、職員間の連携が深まる体制づくりに努めている。	
	中核市研修番号					7, 8
危機管理に関すること	子供が安心して過ごすことができる施設や遊具等の安全な環境を整える力 (安全管理)	○危機管理を理解し、マニュアルに沿った環境を整えている。	○園全体の危機管理を理解し、子供たちがより安心・安全に生活できる環境を工夫している。	○園全体の危機管理を理解し、子供たちがより安心・安全に生活できる環境を改善し、危機管理マニュアルに反映させている。	○園長を補佐し、危機管理のためのマニュアルを整備し、園内体制を確立している。	○危険を予測し、危機管理のためのマニュアルを整備し、園内体制を確立している。
	中核市研修番号					7, 8
	家庭や地域と連携し、子供が危険から身を守り、安全に行動できるように指導する力 (安全教育)	○日頃から遊びや生活の中に安全や命を守るための要素を意識して取り入れ、指導を行っている。	○家庭や地域と連携を図りながら、安全や命を守るために指導を行っている。	○家庭や地域と連携を図りながら、安全や命を守るための工夫・改善を図っている。	○園全体で安全教育が行われるよう、必要に応じて教職員の指導・支援を行っている。	○地域の実態に応じて子供の安全教育や防災等について、職員や保護者と協働して取組を進めている。
中核市研修番号					7, 8	

7 山口県教員育成指標・下関市中核市研修対応表【教諭】 H30年度版

山口県では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなただけの熱い情熱を！～

- ◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人
- ◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人
- ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
- ◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人
- ◎豊かな社会性を持ち、幅広いコミュニケーションができる人
- ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。

本指標は、「教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責・経費等にに応じて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

キャリアステージ		採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】
求められる資質能力		山口県の掲げる教育目標を理解し、熱い情熱をもって教育活動を推進する意欲とチャレンジ精神をもっている。	教育に対する強い使命感や情熱をもち、学校に活力を与えるとともに、学習指導や生徒指導等を行う際に必要な基礎的な知識や技能を基盤とした実践的指導力を発揮している。	専門分野の力を伸ばすとともに、身に付けた高い専門性を生かし、モデルリーダーとして学校運営の一翼を担っている。	高い能力や専門性を発揮し、学校における様々な校務等を通して、学校運営に積極的に参画したり、若手や中堅の教員の人材育成に取り組んだりしながら、企画力・調整力を発揮している。
区分	項目				
教員育成指標	授業計画	○学習指導要領に示された教科等の目標及び内容並びに児童生徒の実態に即した授業構想の重要性を理解している。	○教科等に関する専門的な知識・技能を活用し、児童生徒の実態を踏まえて、ねらいを明確にした年間・単元・単位時間の授業を計画している。 ○授業のねらいを踏まえて適切な教材研究・開発を行っている。	○児童生徒の発達段階や習熟度、学校の重点課題等を踏まえ、創意工夫を凝らした授業を計画している。 ○授業のねらいを踏まえた教材研究・開発を行い、他の教員と共有している。	○授業計画の作成について、他の教員に対して適切な助言を行っている。
	中核市研修番号		1, 2, 3, 4, 15, 16～32, 38, 40, 41, 42, 44	5, 15, 16～32, 38, 40, 41, 42, 44, 47	15, 16～32, 38, 42, 44, 47
	授業実施	○基本的な指導方法や教科等の特性に応じた指導形態等について理解している。 ○ICTを始めとした教材・教員の活用など、効果的な授業の在り方について理解している。	○基本的な指導方法や場面に適した指導形態等を理解し、児童生徒の反応を見ながら個に応じた指導を行っている。 ○授業の中でICT等を積極的に活用した指導を行っている。	○指導方法や指導形態等を工夫し、児童生徒の反応を生かしながら主体的な学習を促す指導を行っている。 ○授業の中でICT等を効果的に活用し、児童生徒の学力向上につなげている。	○指導方法や指導形態等について、他の教員に対して適切な助言を行っている。 ○ICT等の活用について、専門性の向上を図りながら、他の教員に対して適切な助言を行っている。
	中核市研修番号		1, 2, 3, 4, 15, 16～32, 38, 40, 41, 44	5, 15, 16～32, 38, 40, 41, 44	15, 16～32, 38, 44
	評価	○学習評価の考え方を理解している。	○指導と評価の一体化について理解し、評価規程を設定している。 ○指導と評価の計画に従って児童生徒の学習状況を把握し、次時や次単元の指導に生かしている。	○評価の信頼性を高めるために、評価規程や評価方法の改善を図っている。 ○評価を児童生徒の学力の向上を図る指導に生かしている。	○指導と評価の計画に従って、信頼性の高い評価を行っている。 ○他の教員に対して、評価の改善につながる適切な助言を行っている。
	中核市研修番号		1, 2, 3, 4, 15, 16～32, 38, 40, 41, 44	5, 15, 16～32, 38, 40, 41, 44	15, 16～32, 38, 44
授業研究 授業改善	○模擬授業や教育実習における授業実践等の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 ○授業改善の視点としての主体的・対話的で深い学びの実現の重要性を理解している。	○日常的に授業を公開し、他の教員や地域の方々の指導・助言や授業評価を受け、自己のよさや課題に気づき、授業改善に努めている。 ○主体的・対話的で深い学びについて理解し、授業を実践している。	○校外の教員等を対象とした研究授業を積極的にを行い、授業評価も踏まえながら授業力の向上に努めている。 ○学習目標に応じて適切な授業形態を用い、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行っている。	○他の教員に対して、助言を積極的にを行い、授業研究や教材開発に取り組む雰囲気づくりに努めている。 ○児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、他の教員に適切な助言を行っている。	
中核市研修番号		1, 2, 3, 4, 15, 16～32, 36, 38, 40, 41, 44	5, 15, 16～32, 36, 38, 40, 41, 44	15, 16～32, 36, 38, 44	
生徒指導・ 教員育成指標	児童生徒理解	○受容、傾聴、共感的理解の大切さを理解している。	○学校の指導方針を基に、児童生徒一人ひとりの理解を深め、柔軟かつ適切に児童生徒への指導助言を行っている。	○的確な児童生徒理解に努めることを通じて、児童生徒の自己指導能力を高め、主体的な行動を促すよう、組織的な動きの中心となって対応している。	○関係機関と連携を図りながら、組織的・計画的に児童生徒への支援を進めるとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
	中核市研修番号		1, 2, 3, 4, 13, 33, 34, 36	5, 13, 33, 34, 36	13, 33, 34, 36
	教育相談 (カウンセリング)	○教育相談に関する基礎的な知識を身に付けている。	○教育相談に関する基礎的な知識・技能を身に付け、傾聴の大切さを理解し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援をしている。	○教育相談に関する高い見識と専門性を身に付けるとともに、スクール・カウンセラーと連携して、児童生徒や周囲の状況を把握しながら対応している。	○あらゆる場面で児童生徒に適切に関わることができるように、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
	中核市研修番号		1, 4, 13, 34	5, 13, 34	13, 34
問題行動への対応	○生徒指導上の課題及び対応の視点を理解している。 ○いじめに対する基本的な知識を有し、いじめ防止の重要性を理解している。	○直面する課題を把握し、他の教職員と情報を共有しながら解決に努めるとともに、児童生徒、保護者に対して丁寧に対応している。 ○いじめ防止等の基本的な方針を理解し、児童生徒のささいな変化に気づく力を高め、いじめの早期発見に努めるとともに、組織的な対応につなげている。	○他の教職員と情報を共有しながら客観的な事実の把握に努め、組織的な動きの中心となるとともに、児童生徒、保護者への信頼感に基づいた対応をしている。 ○組織的な対応の中核となって、いじめの根絶及び解決に向けた取組を推進している。	○直面する課題の解決に向けて、他の教職員の抱える課題を共有し、助言したり、具体的方策を提案したりしている。 ○いじめ防止等の基本的な方針や、いじめに係る組織的な対応の中で、他の教職員に対して適切な助言を行っている。	
中核市研修番号		1, 4, 34, 35	5, 34, 35	34, 35	
そのほかの教育活動	人権教育	○基本的人権の意義や理念について正しい理解と認識をもっている。	○基本的人権の意義や理念について正しい理解と認識をもち、児童生徒一人ひとりのよさや可能性を認め、人権尊重の視点に立って指導している。	○学校運営における自己の役割を踏まえ、学校や学年の課題を把握し、課題解決に向けて人権尊重の視点に立って取り組み、成果を得ている。	○人権が尊重された学校づくりを推進するため、校内推進体制の構築や家庭・地域との連携等において、人権尊重の視点に立って指導的な役割を果たしている。
	中核市研修番号		1, 4, 39	5, 39	39
	進路指導・キャリア教育	○教育課程における進路指導・キャリア教育の意義や目標を理解している。	○進路指導・キャリア教育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ○進路に関する情報を収集し、それを基に、児童生徒に対して適切なガイダンスを行っている。	○各種体験活動の充実や家庭、地域、産業界等との連携協力体制の強化に努めている。	○小・中・高等学校等を通じた系統的・計画的な推進、学校の教育全体を通じた組織的・効果的な推進に向けて中心的な役割を果たしている。
中核市研修番号		1, 4	5, 43	43	

キャリアステージ	採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】
特別支援教育	○特別支援教育やインクルーシブ教育システムの理念、合理的配慮の提供に関する考え方を理解している。 ○特別な教育的支援を必要とする児童生徒の多様な教育的ニーズを理解しようとしている。	○障害等により困難を示す児童生徒の気持ちや、その背景を理解しようとしている。 ○障害等による困難に応じた多様な学習指導、学級経営の方法を知っている、又は活用している。 ○校内支援体制の仕組みや個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成について理解し、参画している。	○児童生徒の障害者理解を深める指導や交流及び共同学習の内容・方法の改善に努めている。 ○特別支援教育の視点を取り入れ、自分の学習指導、学級経営、生徒指導の幅を広げている。 ○個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し、他の教職員や校内コーディネーター、家庭、関係機関と連携して支援している。	○児童生徒の障害者理解を促進するための実践を蓄積し、校内への普及・継承を進めている。 ○特別支援教育の視点を踏まえた学習指導・学級経営・生徒指導の実践を蓄積し、校内への普及・継承を進めている。 ○個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用、校内委員会や事例検討会の充実等に向け、中心的役割を果たしている。
	中核市研修番号	1, 4, 36	5, 36, 37	36, 37
道徳、総合的な学習の時間、特別活動に関すること	○学校における道徳教育の指導計画及び教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。 ○総合的な学習の時間の意義や役割について、教科を越えて必要となる資質能力の育成の観点から理解している。 ○特別活動の目標及び内容を理解している。	○学校における道徳教育の重要性を理解し、ねらいを明確にした道徳科の授業を行っている。 ○学習課題に対して、横断的・総合的な学習や探究的な学習を実践している。 ○特別活動の意義を理解し、児童生徒の主体的な活動となるよう積極的に指導を行っている。	○道徳科を要とし、教育活動全体を通じた道徳教育に取り組んでいる。 ○学習課題を学校の実態に応じて設定し、横断的・総合的な学習や探究的な学習を実践している。 ○特別活動の意義を理解し、児童生徒の自治的能力の育成を重視した指導を行っている。	○道徳教育を推進するとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。 ○横断的・総合的な学習や探究的な学習を実践するとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。 ○各学年、教科との関連、地域や異校種と連携した組織的な指導を計画的に進めるとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
	中核市研修番号	1, 2, 3, 38	38	38
学級（学年）経営	○学級経営の仕組み及び効果的な方法を理解している。	○学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえ、学級（学年）集団の規律を維持し、計画的な活動を行っている。	○学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえ、他の教職員と連携を図りながら、児童生徒一人ひとりの能力を高め、積極的に学級（学年）経営を行っている。	○校内における学級（学年）経営の要として、他の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	中核市研修番号	1, 36	36	36
校務分掌への取組	○校務分掌の仕組み及び必要性を理解している。	○担当する校務分掌について、他の分掌や全体との関わりの中で自己の役割を理解し、迅速かつ的確に処理している。	○校務分掌について、課題を把握し、工夫や改善をしながら、中核となって取り組んでいる。	○校務分掌間の調整を図りながら、積極的に取り組むとともに、他の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	中核市研修番号			
組織的・学校運営への参画	○学校運営に関して、組織的な対応の必要性を理解している。 ○児童生徒と向き合う時間を確保するためにも、効率的な業務遂行が必要であることを理解している。 ○教育課程の役割や機能、意義について理解している。	○学校運営に関して、自分の役割を理解し、学校教育目標の達成に努めている。 ○教員として必要な知識・技能を高めるよう研鑽するとともに、他の教職員と協力し、限られた時間の中で最大限の効果をあげるよう努めている。 ○学習指導要領に従い、学校教育目標の達成に向けて、教育課程に基づいて児童生徒の実態に応じた指導に取り組んでいる。	○自校の状況や課題への対応について積極的に意見を述べ、課題解決や学校教育目標の達成に向けて組織的に行動している。 ○教職員が健康でいきいきとやりがいをもって働くことができるよう、効率的・効果的な学校の指導・運営体制の構築に向け、具体的な提言をしている。 ○自校の特色を生かした教育課程の編成に当たり、積極的に提言している。	○高い能力や専門性を発揮し、様々な校務を通して学校運営に積極的に参画している。 ○継続可能な学校の指導・運営体制の構築に参画するとともに、教職員全体のワーク・ライフ・バランスの実現を呼びかけている。 ○自校や地域の特色を生かした教育課程の編成に積極的に参画している。
	中核市研修番号		5, 43	43
学校安全	○危機管理・安全管理に関わる基礎的な知識を身に付けている。	○危機管理・安全管理に関わる基礎的な知識を身に付けるとともに、学校内の危険を察知し、児童生徒の安全管理のために適切に対応している。	○学校安全に関わる研修等を企画するとともに、校内の危機管理体制や危機管理マニュアル等の点検・改善について提言している。	○学校を取り巻く危険について、家庭、地域、関係機関との協力を確立するとともに、危機管理体制の状況を常に把握し、緊急時においても適切に判断している。
	中核市研修番号	1		
家庭、地域、関係機関等との連携	○学校、家庭、地域との連携・協働の意義や学校運営協議会の仕組みを理解している。	○学校、家庭、地域との連携・協働の意義を理解し、学校運営協議会や家庭、地域と協働する取組に積極的に参加して、保護者や地域の方との信頼関係を築いている。	○学校課題の解決、教育目標の達成に向けて、学校支援・地域貢献の取組の企画・立案など、学校運営に積極的に参加している。 ○地域連携担当教職員等と協力し、家庭、地域や関係機関等と連携・協働してコミュニティ・スクールの取組の充実に努めている。	○これまでの実践や検証を生かして、学校運営協議会や家庭、地域と協働する取組など、学校運営に積極的に参画している。 ○地域連携担当教職員等への助言・支援や全教職員の主体的な参画について働きかけ、コミュニティ・スクールの取組の一層の充実に努めている。
	中核市研修番号	1	5	
人材育成	○疑問や悩みを相談し、チームで対応する必要性を理解している。	○疑問や悩みを相談・共有しながら、自らの実践力を磨いている。	○互いの課題や悩みを気付き、支え合える環境をつくることも、経験の浅い教職員を積極的に支援している。	○人材育成の重要性を踏まえ、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境づくりに協力するとともに、若手、中堅の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
	中核市研修番号		5	
法令遵守	○教育公務員として求められる法令を理解し、教育に対する強い使命感や情熱をもってしている。	○教育に対する強い使命感や情熱をもち、信頼関係に基づいて職務を遂行するとともに、法令を遵守し、不祥事の防止に努めている。	○学校運営の一貫を担い、高い倫理観と規範意識に基づいて法令遵守の重要性を他の教職員に助言している。	○高い危機管理意識をもって学校運営に積極的に参画し、法令遵守の重要性を教職員全体に指導するとともに、模範となっている。
	中核市研修番号	1	5	

8 山口県教員育成指標・下関市中核市研修対応表【養護教諭】平成30年度版

山口県では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなたの熱い情熱を！～

◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人 ◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人 ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人

◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人 ◎豊かな社会性をもち、幅広いコミュニケーションができる人 ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。
本指標は、「教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責・経験等に応じて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

キャリアステージ	採用時	若手【自立・向上期】	中堅【充実期】	ベテラン【発展期】	
求められる資質能力	山口県の掲げる教育目標を理解し、熱い情熱をもって教育活動を推進する意欲とチャレンジ精神をもっている。	教育に対する強い使命感や情熱をもち、学校に活力を与えるとともに、学習指導や生徒指導等を行う際に必要な基礎的な知識や技能を基盤とした実践的指導力を発揮している。	専門分野の力を伸ばすとともに、身に付けた高い専門性を生かし、ミドルリーダーとして学校運営の一翼を担っている。	高い能力や専門性を発揮し、学校における様々な校務等を通して、学校運営に積極的に参画したり、若手や中堅の教職員の人材育成に取り組んだりしながら、企画力・調整力を発揮している。	
区分	項目				
保健管理・保健室運営に関する項目	保健管理	○児童生徒の実態の把握の必要性を認識している。 ○基本的な処置の仕方や健康診断の計画・立案、学校環境衛生基準に基づく検査の実施等、保健管理について理解している。 ○アレルギー疾患やメンタルヘルスの問題等、現代的な健康課題について理解している。	○児童生徒の健康課題を早期に見出し、適切に対応している。 ○学校保健安全法を理解し、学校環境衛生活動や感染症予防等、適切な保健管理を行っている。 ○救急処置の技術を高めるとともに、医学的な情報や現代的な健康課題の傾向等を、教職員に的確に周知している。	○児童生徒の健康課題の解決に向けて支援方法を立てるなど、組織的に対応している。 ○保健管理に関して、指導的な立場を果たしている。 ○現代的な健康課題に迅速に対応できるよう校内研修を企画するなど、教職員の資質能力向上に参画している。	○専門性を生かし、児童生徒の健康課題の解決に向けて、校内及び地域の関係機関と連携を図っている。 ○豊かな経験を生かして、学校保健に係る学校運営に参画している。 ○現代的な健康課題に適切に対応するため、常に新たな知識や技能を習得し、学校内・学校外で指導的立場を果たしている。
	保健教育	○学習指導要領を理解し、学校における保健教育の重要性を認識している。	○養護教諭の役割を理解した上で、学級担任、教科担任等と連携し、専門性を生かしながら授業に参画している。	○児童生徒の実態を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを促す指導及び信頼性の高い評価を行うとともに、それらの改善に努めている。	○児童生徒や地域の健康課題を踏まえ、地域の専門家や関係機関等と連携した指導を進めるとともに、他の教職員に指導や助言を行っている。
	健康相談	○健康診断や日常の健康観察の結果等を基にした、児童生徒の心身の発達段階に応じた健康相談の重要性を理解している。	○養護教諭の専門性を生かして、対象児童生徒が発するサインにいち早く気づき、基本的なプロセスを踏まえた健康相談を実施している。	○対象児童生徒の心身の状況を医学的な観点から捉え、校内支援体制の充実を図りながら健康相談を実施している。	○対象児童生徒の心身の状況を総合的に捉え、学校及び地域の関係機関との連携に係るコーディネーターの役割を果たしながら、継続した支援方針・支援方法を検討している。
生徒指導・教育相談に関する項目	児童生徒理解	○受容、傾聴、共感的理解の大切さを理解している。 ○いつでもただでも相談できる保健室の必要性を理解している。	○学校の指導方針を基に、児童生徒一人ひとりへの理解を深め、柔軟かつ適切に児童生徒への指導助言を行っている。 ○いつでもただでも相談できる保健室環境を整え、児童生徒理解に努めている。	○的確な児童生徒理解に努めることを通して、児童生徒の自己指導能力を高め、主体的な行動を促すよう、組織的な動きの中心となって対応している。 ○保健室だけでなく、あらゆる場面で児童生徒への声かけなどを通して日頃の状況把握に努めている。	○関係機関と連携を図りながら、組織的・計画的に児童生徒への支援を進めるとともに、他の教職員に対して適切な助言を行っている。 ○日頃の児童生徒の状況を的確に把握し、児童生徒の問題の早期発見・早期対応につなげるとともに、重大事案の未然防止に努めている。
	教育相談(カウンセリング)	○教育相談に関する基礎的な知識を身に付けている。	○教育相談に関する基礎的な知識・技能を身に付け、傾聴の大切さを理解し、必要に応じて医療機関と連携を図りながら、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援をしている。	○教育相談に関する高い見識と専門性を身に付けるとともに、スキル・カウンセラーと連携して、児童生徒や周囲の状況を把握しながら対応している。	○あらゆる場面で児童生徒に適切に関わることができるよう、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
	問題行動への対応	○生徒指導上の課題及び対応の視点を理解している。 ○いじめに対する基本的な知識を有し、いじめ防止の重要性を理解している。	○保健室の特性を生かし、直面する課題を把握し、他の教職員と情報を共有しながら解決に努めるとともに、児童生徒、保護者に対して丁寧に対応している。 ○いじめ防止等の基本的な方針を理解し、児童生徒のささいな変化に気づく力を高め、いじめの早期発見に努めるとともに、組織的な対応につなげている。	○他の教職員と情報を共有しながら客観的な事実の把握に努めるとともに、多角的に児童生徒を捉え、組織的な動きの中心となって、関係教職員と連携して対応している。 ○組織的な対応の中で、養護をつかさどる立場として、いじめの根絶及び解決に向けた取組を推進している。	○関係機関との連携を図るとともに、他の教職員の抱える課題を共有し、助言したり、具体的な方策を提案したりしている。 ○いじめ防止等の基本的な方針や、いじめに係る組織的な対応の中で、他の教職員に対して適切な助言を行っている。
その他の教育活動に関する項目	人権教育	○基本的人権の意義や理念について正しい理解と認識をもっている。	○基本的人権の意義や理念について正しい理解と認識をもち、児童生徒一人ひとりのよさや可能性を認め、人権尊重の視点に立って指導している。	○学校運営における自己の役割を踏まえ、学校や学年の課題を把握し、課題解決に向けて人権尊重の視点に立って取り組み、成果を得ている。	○人権が尊重された学校づくりを推進するため、校内推進体制の構築や家庭、地域との連携等において、人権尊重の視点に立って指導的な役割を果たしている。
	進路指導・キャリア教育	○教育課程における進路指導・キャリア教育の意義や目標を理解している。	○進路指導・キャリア教育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	○各種体験活動の充実や家庭、地域、産業界等との連携協力体制の強化に努めている。	○小・中・高等学校等を通じた系統的・計画的な推進、学校の教育全体を通じた組織的・効果的な推進に積極的に参画している。

10 山口県教員育成指標・下関市中核市研修対応表【管理職】平成30年度版

山口県では、教員に求められ、期待される資質能力を「山口県が求める教師像」に示しています。

山口県が求める教師像～未来を担う子どもたちにあなただけの熱い情熱を！～

- ◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人 ◎強い使命感と倫理観をもち縛ることができる人 ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人 ◎豊かな社会性をもち、幅広いコミュニケーションができる人 ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

「山口県が求める教師像」に示す資質能力は、教職生活を支える土台となるものであり、これらの資質能力をより確かなものとするために、教職生活全体を通じて充実・深化させていくことが大切です。

本指標は、「教職員人材育成基本方針」に示されたキャリアステージごとの役割と求められる資質能力に沿って、教員が高度専門職としての職責、経費等に就いて身に付けるべき資質能力を具体化し、研修等を通じてその計画的・継続的な向上を図る際の目安を示したものです。

求められる資質能力		国や県、市町の動向を踏まえ、学校の状況、教育課題や地域の期待を的確に把握した上で、高い教育的識見や揺るぎない使命感とともに学校運営に係る明確かつ具体的なビジョンをもち、学校課題の解決、学校教育目標の達成に向けて、マネジメント能力を発揮している。 コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、家庭や地域と一層連携・協働することにより、学校運営・学校支援・地域貢献の取組を充実させ、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めている。
区分・項目	職	
管理職(中核市)S級職(中核市)	知識・識見	<p>○山口県の教育目標と達成の視点を全教職員に意識させるとともに、データに基づき課題の把握を行い、課題解決に向けて取組体制を整えている。</p> <p>○教育に関する法令等を深く理解し、関係法令等を遵守するとともに、所属職員全体の範となる高い倫理観を保ち、職責の遂行に全力を傾注している。</p>
	中核市研修番号	6
	組織運営力	<p>○PDCAサイクルを機能させ、課題解決の取組について教職員と協働して学校組織としての取組を改善している。</p>
	中核市研修番号	6
	コミュニケーション力	<p>○教職員それぞれの立場や職務への姿勢、感じている課題等、個々の状況をとりえ、「教示」「説得」「参加」「委任」など、状況に対応した効果的な働きかけを行っている。</p> <p>○教育活動の推進に当たり、関係機関等との連携・折衝を適切に行い、組織としての対応を円滑に進める要となっている。</p>
	中核市研修番号	6
危機管理能力	<p>○「児童生徒に関係すること」「教職員に関係すること」「火災・自然災害等に関係すること」等の学校危機を具体的に予測し、未然防止に努めるとともに、危機が発生した際の迅速・的確な組織的対応の動きをつくり出している。</p>	
中核市研修番号	6	
中核市(中核市)S級職(中核市)	組織的な運営体制づくり	<p>○学校教育目標を全教職員と共有し、教職員一人ひとりの役割・責務を明確にし、目標達成に向けた組織運営を進めている。</p> <p>○外部の専門家や専門機関を活用した、課題への効果的な対応を促している。</p>
	中核市研修番号	6
	ビジョンの構築・具現化	<p>○校長の示した教育ビジョンの具現化に向けて方策や計画を立案するとともに、全教職員に周知し、取組の方向を明確にしている。</p> <p>○教育課程の実施に当たり、各分掌等の動きの進捗を管理するとともに、検証のために必要な状況把握を行っている。</p>
	中核市研修番号	6
	家庭、地域、関係機関等との連携	<p>○学校課題や教育目標の達成に向けて、地域連携担当教職員やコーディネーター等を有効に機能させ、全教職員がコミュニティ・スクールの取組を主体的に進める体制づくりを推進している。</p> <p>○保護者や地域、関係団体等の意見や要望の把握、調整を行いながら、学校、家庭、地域の連携・協働体制を強化し、学校運営・学校支援・地域貢献の充実を図っている。</p>
	中核市研修番号	6
	学校安全	<p>○教職員、家庭、地域、関係団体と連携して安全管理を徹底するとともに、安全教育・危機管理の取組を推進している。</p>
	中核市研修番号	6
	会計管理	<p>○校長、事務職員と連携し、学校組織として会計等の管理が適切にできているかについて定期的に確認し合う体制づくりを行っている。</p>
	中核市研修番号	
学校施設・設備の活用・管理	<p>○関係分掌主任に働きかけ、学校施設・設備の問題箇所等に係る情報を共有し、スピード感をもって対応する体制づくりを行っている。</p>	
中核市研修番号		
学校評価	<p>○外部アンケートの結果から得られる成果や課題を分析・整理し、自己評価や学校関係者評価の充実を図り、課題解決に向けて地域や関係者等との連携を推進している。</p>	
中核市研修番号	6	
業務改善	<p>○業務改善目標や取組方針を理解し、業務の効率化・最適化に向けて校内体制の改善・充実を図り、業務改善を推進している。</p>	
中核市研修番号	6	

区分・項目	職	教頭・部主事	校長・副校長
学校教育の管理に関すること	人権教育	○人権尊重の視点に立って、全体計画や年間指導計画等に基づき、日常的に教育活動の点検・評価を行い、教職員に適切な指導・助言を行うこと等を通して、推進体制の充実を図っている。	○「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づき、人権が尊重された学校づくりを推進するために、児童生徒や地域社会の実情等を踏まえ、学校としての明確な方針を示すとともに、教職員の指導力の向上を図るための研修を適宜実施している。
	中核市研修番号		
	学力向上	○学力向上に関する取組方針について、各学年、各教科及び校務分掌間で共通認識できるような体制を構築し、自らがリーダーシップを発揮して学力向上の取組を推進している。	○児童生徒や学校、地域の実態に応じて、学力向上の取組方針を明確に示すとともに、各学年、各教科及び校務分掌等が組織的に取組を進めることができるよう校内体制の構築を図っている。
	中核市研修番号		
	生徒指導 教育相談	○生徒指導の取組方針に基づき、生徒指導・教育相談担当教職員や家庭との連携を密にして、教職員へ適切な指導・助言を行い、自己指導能力を高めるための積極的な生徒指導及び信頼感に基づいた教育相談活動を推進している。	○家庭、地域、関係機関等との連携を密にして、心の教育の基盤となる「開発的生徒指導」の取組方針を明確に示すとともに、「いじめ防止基本方針」に基づき、問題行動や不登校の早期発見・早期対応に向けた組織的な取組を推進している。
	中核市研修番号		
	健康管理 体力向上	○児童生徒や学校、地域の実態等に応じて、学校における健康管理及び体力向上に向けた教育ビジョン等を校長へ進言するとともに、教職員等へ適切な指示・指導・助言等を行い、効果的・効率的な取組の検証・改善を図っている。	○児童生徒や学校、地域の実態等に応じて、学校における健康管理及び体力向上に向けた教育ビジョン等を策定するとともに、家庭や地域と連携し、効果的・効率的な取組の検証・改善を図っている。
	中核市研修番号		
進路指導・ キャリア教育	○全教職員の共通理解のもと、学校教育活動全体を通じた計画的なキャリア教育を推進している。 ○地域産業や地域社会と連携を図るため、関係者との意思疎通に努めている。	○児童生徒や学校、地域の実態に応じて、キャリア教育の目標を定め、全教職員の共通理解と協力体制を構築して目標の実現に向けて取り組んでいる。	
中核市研修番号			
特別支援教育	○特別支援教育の理念や制度、インクルーシブ教育システム構築や合理的配慮提供の考え方等についての認識を深め、全教職員の理解を促進している。 ○校内コーディネーターと連携しつつ、自らがリーダーシップを発揮し、校内委員会の計画的な実施と組織的な支援、「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成と活用、保護者や関係機関等との連絡調整、進級・進学時における情報の引き継ぎの管理を行っている。	○特別支援教育実施の責任者として、特別支援教育や障害に関する認識を常に新たにし、特別支援教育を学校経営の柱に位置付けている。 ○自らがリーダーシップを発揮し、校内委員会の充実、校内コーディネーターの育成、「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の活用と管理、教職員の専門性向上、保護者や関係機関等との連携、障害者理解の促進、進学時における情報の適切な引き継ぎ等の徹底を図っている。	
中核市研修番号			
教職員の人材育成に関すること	教職員理解	○日常のコミュニケーションを大切に、個々の勤務状況等を確認しながら不安や悩みを傾聴するなど、教職員の心身の健康に対してきめ細かな配慮をしている。 ○教職員一人ひとりのよさと課題を把握し、個々の教職員の課題意識やキャリアビジョン等について適切に助言している。	○個々の勤務状況や健康診断結果、日常のコミュニケーション等を通して教職員の心身の健康状態を自ら把握するとともに、不安や悩みを傾聴して教職員の健康維持に努めている。 ○教職員一人ひとりのよさと課題を踏まえ、個々の教職員の課題意識やキャリアビジョン等について十分に理解し、支援している。
	中核市研修番号	6	7, 9
	教職員評価	○校長と連携し、教職員の職務遂行状況を適切に把握し、公平性・透明性・納得性の高い評価を実現することで、当該教職員の意欲の向上と学校の活性化を図っている。	○教頭等と連携し、公平性・透明性・納得性の高い教職員評価を実現し、教職員の意欲の向上と学校の活性化を図るとともに、評価においてよさと課題を明確にし、人材育成を図っている。
	中核市研修番号	6	7, 9
	教職員研修	○教職員評価や授業評価等の仕組みを生かし、教職員のニーズをとらえた上で研修主任等と連携しながら、教職員一人ひとりが主体的に取り組む研修を実施するとともに、研修成果の共有を図っている。	○教職員のキャリアステージを踏まえ、教頭や研修主任等に働きかけ、学校の課題解決及び教職員の資質能力の向上を効果的に図ることができる研修の企画・運営について、的確に指示を与えている。
	中核市研修番号	6	7, 9
	人事管理	○教職員一人ひとりのキャリアや職務能力、業務内容・業務量を的確に把握・考量するとともに、それぞれのよさと課題、キャリアビジョンを踏まえた上で、その能力を最大限に生かす校内人事について提言している。	○教職員一人ひとりのキャリアや職務能力、業務内容・業務量を的確に把握・考量するとともに、それぞれのよさと課題、キャリアビジョンを踏まえた上で、その能力を最大限に生かす校内人事を行っている。 ○長期的な展望をもち、校内状況を勘案しつつ全体的視野に立ち、適材適所となる人事異動を進めている。
	中核市研修番号	6	7, 9
服務監督 綱紀保持	○所属職員の服務規律の確保と綱紀の保持に向け、校内研修の充実を図るとともに、教職員個々の状態を把握し、適切に指導・助言を行っている。	○所属職員を監督する立場としての自覚と知見、情熱をもち、校内組織・体制を確立し、職員全体の服務規律と綱紀の保持を図っている。	
中核市研修番号	6	7, 9	